

Game Report

開催場所：鹿屋体育大学

試合区分：第 26 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2019 年 10 月 19 日(土)

試合時間：10：00～

CC：山中 萌衣

U1：大山 早紀子

U2：牧野 景介

東海大学九州	● 76	20	—1st—	25	○ 81	西南女学院大学
		16	—2nd—	12		
		28	—3rd—	24		
		12	—4th—	20		

第 1 クォーター

西女大 #21 ニノ宮のレイアップシュートで試合がスタート。序盤、西女大は速い展開で攻撃を組み立て、#21 ニノ宮を中心に得点を重ね、リードを奪う。中盤、東海大は激しいディフェンスから、#0 岩崎、#28 脇山の 3P シュートで得点を重ねるも、対する西女大は #21 ニノ宮の連続得点でリードを保つ。西女大の勢いは止まらず、20-25 の西女大リードで第 1 クォーターを終える。

第 2 クォーター

序盤、東海大が #0 岩崎の鋭いドライブで立て続けに得点を挙げ、逆転に成功する。巻き返しを図りたい西女大だが、中々シュートを決めきれず苦しい展開が続き、たまたまタイムアウトを請求する。タイムアウトの直後、西女大 #20 永友の 3P シュートで反撃が出る。その後、互角の戦いが続き、36-37 の西女大リードで第 2 クォーターを終える。

第 3 クォーター

開始早々、西女大 #21 ニノ宮のオフenseリバウンドからのゴール下シュートで得点する。対する東海大も #0 岩崎のレイアップシュートで対抗する。西女大は #20 永友の 3P シュートや #18 阿南の 3 連続得点で得点を重ねる。東海大も #0 岩崎、#7 竹原が 3P シュートを決め主導権を渡さず、お互いに譲らない展開が続き、64-61 の東海大リードで第 3 クォーターを終える。

第 4 クォーター

最終クォーターに入っても、互角の展開が続く。西女大は offense リバウンドに積極的に飛び込み、#21 ニノ宮がゴール下で得点を重ねる。対する東海大はオールコートでプレスディフェンスを仕掛け、西女大のミスを誘う。互角の展開が続いたまま迎えた試合終盤、西女大 #21 ニノ宮がゴール下シュートを決め、リードを奪う。東海大は終盤、フリースローを獲得するも決めきれず、直後、西女大 #15 渡辺がバスケットカウントで試合を決定づけた。81-76 で西女大が接戦をものにし、リーグ戦 2 勝目を手にした。